

豊橋市


所属議員

及部 克博




全トヨタ労連 29期(後)統一テーマ 経過報告シート 西久保グループ

活動期間：20年8月～9月 (#1政治センター幹事会報告)

産業目線

【活動項目】 産業道路環境	【活動テーマ】 豊橋市道路整備の取り組み	
<p>到達目標</p>	<p>① 広域幹線道路網の早期実現 ②通勤時の渋滞・問題個所の対応</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 国・県・市への広域幹線道路網に対する要望を継続して実施 ② 多門田交差点右折矢印信号の延長（最大20秒）</p>	
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【 】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>①広域幹線道路網の早期実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名豊道路（国道23号蒲郡バイパス）の建設促進 ○浜松・三ヶ日・豊橋道路（仮称）の建設促進 ○三遠南信道路の建設促進 ○東名高速道路豊橋スマートインターの早期実現への取り組み <p>③ 通勤時の渋滞・問題個所の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○くらしの相談（道路問題）への取り組み 産業道路で大雨の際に水たまり（大幅・広範囲・深い）が発生して危険 【回答】 県・市での排水溝点検・清掃を実施し水たまり対策を実施 	 <p>3. 対応方針(原案)の検討 3-2) 路線の検討条件</p> <p>■ルート候補を検討するまでの主要工種(1)～(3)を中心として、「市道併用」(市道が併用による標準的な区間)、「市道併用の可能性の高い区間」(「市道併用」による区間が主となる区間)、「市道併用の可能性が低い区間」(「市道併用」による区間が主となる区間)を特定し、併用区間の延長を決定。</p> <p>■また、市道併用区間の延長は、安全対策となる補助的施設(歩道等)の存在、工業中核(工場)の存在による交通量増大を考慮する必要がある。</p>
<p>今後の活動</p>	<p>① 国・県・市への要望活動を継続します。 ② くらしの相談を現地・現物で確認して解決に繋がっていきます。</p>	

組合員目線

【活動項目】防災	【活動テーマ】災害に備えた避難への取り組み	
<p>到達目標</p>	<p>豊橋市の防災対策推進（避難所整備等）</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>○『会派要望』に対する市の取り組み状況を把握 ○一般質問で『在宅避難』に対する市民の備え（簡易トイレ）が必要・市民への情報（防災ガイドブック）に掲載する事を述べた。</p>	
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【 】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>豊橋市の防災対策推進（避難所整備等）</p> <p>○集中豪雨に起因する土砂災害に対し、危険個所の調査結果に基づく早急に対応策を講じること。（特に河川地域、傾斜地区） 【回答】土砂災害ハザードマップ(50か所)の作成・周知</p> <p>○各小学校（第二避難所）マンホールトイレ整備</p> <p>○地震・津波を想定した明海地区(臨海工業地)における産業従事者約1万人の避難道路を検証し緊急道路の確保を早急に講じること。</p> <p>【回答】 令和元年度 用地買収に着手 全体の約18%進捗 約30億円の予算が必要 市道の為予算の問題あり（国からの補助50%） 道路だけでなく橋の建設が困難</p> <p>○避難所の感染症対策への取り組み</p>	 <p>市道 明海町・老連町28号線ほか</p> <p>1. 事業概要 本路線は一般国道259号横田バイパスと三河湾臨海部の主要地方道豊橋美津路を結ぶ新たな幹線市道です。国内外の企業が立地する三河湾明海地区の工業団地への新たなアクセス道路として整備することで、臨海部における交通渋滞を緩和し、物流ネットワークの強化を図ります。 事業延長L=700m、幅員W=12.5~15.5m、2車線</p> <p>2. 事業期間 2018年度～2023年度（予定）</p> <p>3. 位置図 画像クリックで「ちずみる豊橋」へ</p> <p>4. 状況 整備前  整備後  事業中</p>
<p>今後の活動</p>	<p>避難所だけでなく災害対策として、様々な問題に対して取り組んでまいります。</p>	